

出張・経費精算クラウドのリーダー コンカー

SAP Concur 

世界19マーケットにおける「出張」に関する国際比較調査

日本人は真面目すぎる！出張中に重視するのは「身の安全」より「ビジネス」 「身の安全」より「お得な出張手配の方法」が気になる日本人

出張・経費管理クラウドのリーダーである株式会社コンカーは、「年に3回以上出張に行く」と回答した世界の19マーケットの7,850名を対象に「出張」についての国際比較調査を行いました。各国の出張事情を比較することで、国によって出張に対する考え方や、ストレスの感じ方などに差があるということが明らかになりました。

■日本人は真面目すぎる！？出張の際に「身の安全」より「出張目的」を重視

「出張に行くときに重視すること」について聞いたところ、日本では「出張の目的が果たされること（43%）」と回答した割合が半数近くを占めるという結果になりました。世界平均の27%と比べてもその差は大きく、「自分の身の安全（23%）」を考えつつも、出張の目的が気になってしまう日本人の生真面目さが伺えます。

一方、世界平均では出張の際に「自分の身の安全（31%）」を重視する割合が高く、「出張の目的が果たされること（27%）」については二の次と考えているようです。

出張に行くとき、あなたにとって一番重要だと思うことは何ですか？		コンカー調べ
順位	世界平均	日本
1位	自分の身の安全（31%）	出張の目的が果たされること（43%）
2位	出張の目的が果たされること（27%）	自分の身の安全（23%）
3位	時間の使い方（17%）	時間の使い方・出張規定を守ること（14%）

■「身の安全の守り方」より「お得な出張手配」について学びたい日本人

「出張に関する研修が受けられるとしたら、何について受けたいですか？」という質問に対し、日本人の約6割が「お得な出張手配の方法（60%）」について学びたいと回答しました。一方、世界平均では「出張中の安全管理（52%）」について学びたいという回答が最も多く、「お得な出張手配の方法（44%）」と回答した割合は半数以下となりました。

また、日本人は受けたい研修の内容として「お得な出張手配の方法（60%）」と回答した割合が世界一多かったことも特徴的です。

日本ではビジネストラベルマネジメントの考えがまだ浸透しておらず、出張予約に関して個人に委ねられていることが多いため、「お得な出張手配の方法」に興味があるのかもしれませんが。

出張に関する研修が受けられるとしたら何について受けていますか？（複数選択） <small>コンカー調べ</small>		
順位	世界平均	日本
1位	出張中の安全管理（52%）	お得な出張手配の方法（60%）
2位	次の出張に向けてどう備えるか（49%）	出張中の安全管理（52%）
3位	お得な出張手配の方法（44%）	次の出張に向けてどう備えるか（46%）
4位	効率的な経費精算（42%）	会社の出張予約ツールの使用方法（37%）

■予約には慎重？日本人の7割が「安全性を理由に宿泊場所を変更したことがない」

「安全面に不安を感じたことが理由で宿泊場所を変更したことがありますか？」という質問に対し、世界では約6割（58%）の人が安全性を理由に宿泊場所を変更しているのに対し、日本人で同様の対応をした経験がある人は約4割と少ないことが分かりました。日本人は予約の段階で、よくよく場所を吟味して宿泊場所を選んでいるのかもしれませんが。

安全面に不安を感じたことが理由で宿泊場所を変更したことがありますか？ <small>コンカー調べ</small>	
世界平均	日本
ある（58%）	ある（35%）
ない（42%）	ない（65%）

■日本人が出張で一番ストレスを感じるのは「出張後」！理由は経費精算のストレス？

「出張で一番ストレスを感じるのはいつか」という質問に対し、日本では「出張後（56%）」と答えた割合が最も高く、「出張中」「出張前」はそれぞれ26%、19%と3割以下となりました。世界と比較してみても、「出張後」と答えた割合は日本が一番高く、日本人が出張の後に大きなストレスを感じていることが分かります。理由としては、日本では他国に比べて「経費精算の支払いが遅れる（58%）」と回答した割合が高く、出張に使った経費精算のストレスが影響していることが考えられます。

出張前、出張中、出張後で一番気が重いのはいつですか？ <small>コンカー調べ</small>		
順位	世界平均	日本
1位	出張前（37%）	出張後（56%）
2位	出張後（33%）	出張中（26%）
3位	出張中（30%）	出張前（19%）

■出張・経費管理、安全管理のためのシステムの導入ニーズの高まり

半数以上の日本人 (59%) が、自身が勤める企業は出張予約・経費管理のテクノロジーが「遅れている」と感じており、さらにそのうちの半数 (50%) が、安全管理ツールの面でも「不十分である」と回答しています。

多くの日本人が抱える「出張後のストレス」を改善するためにも、出張・経費管理と安全管理を両方おこなうことができるシステムの導入が求められています。

■アンケート概要

サンプル数：7,850 名

調査期間：2019 年 7～8 月

調査対象国：オーストラリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、中国、香港、台湾、デンマーク、フィンランド、フランス、ドイツ、インド、日本、ルクセンブルク、メキシコ、オランダ、ノルウェー、シンガポール、マレーシア、スウェーデン、イギリス、アメリカ

■株式会社コンカーについて

世界最大の出張・経費管理クラウド SAP Concur の日本法人で、2010 年 10 月に株式会社サンブリッジとジョイント・ベンチャー方式で設立されました。『Concur Expense (経費精算・経費管理)』・『Concur Travel (出張管理)』・『Concur Invoice (請求書管理)』を中心に企業の間接費管理の高度化と従業員の働き方改革を支援するクラウドサービス群を提供しています。

コンカーの詳細については www.concur.co.jp をご覧ください。

■SAP® Concur について

20 年以上にわたり、出張・経費・請求書・コンプライアンスそしてリスクなどの間接費に関するすべての管理を自動化することで、あらゆる業種におけるあらゆる規模の企業を支援しています。SAP Concur の世界標準の知見と業界トップのイノベーションは、多種多様なパートナーとアプリケーションのエコシステム、従業員のムダな時間削減を支援するソリューションや最先端の技術、そして包括的な出張・経費データの活用を通じ、お客様の出張・経費管理の価値最大化に貢献します。ユーザーフレンドリーですぐにビジネスに活用できる SAP Concur のソリューションは、ビジネス課題の複雑性の低減と間接費の可視化を促進することで、企業に強力な洞察力を与え、積極的な間接費管理を実現します。詳細は concur.com または [SAP Concur プログラム](#) をご覧ください。

SAP、SAP ロゴ、記載されているすべての SAP 製品およびサービス名はドイツにある SAP SE やその他世界各国における登録商標または商標です。またその他記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の登録商標または商標です。